

## 埼玉県がん登録室紹介

## &lt;埼玉県の概要&gt;

埼玉県は関東平野の中央に位置し、一都六県に囲まれています。人口約727万人(平成27年国勢調査)で、全国で5番目に多く、現在も増加を続けています。また、平均年齢はおよそ45.4歳で、全国で6番目に若い県です。しかし、年少人口の割合が減る一方、全国一のスピードで老年人口が増えています。

63市町村(40市22町1村)から構成され、10の2次医療圏があり、国が指定する都道府県がん診療連携拠点病院1施設、地域がん診療連携拠点病院が12施設、小児がん拠点病院が1施設、また、県独自で埼玉県がん診療指定病院を13施設指定しています。

## &lt;埼玉県のがん登録事業&gt;

埼玉県地域がん登録事業は、平成23年9月、埼玉県を実施主体として開始しました。平成22年及び平成23年罹患分については、収集対象を一部の医療機関に限定していましたが、平成24年罹患分からは全医療機関を対象としています。

平成26年2月に、登録室を県庁内から県立がんセンター内へ移し、現在、主に非常勤職員2人、臨時職員1人で登録作業を行い、保健医療部疾病対策課職員3人で報告書の作成等を行っています。

本県における初めての罹患報告であった平成24年罹患分のDCNは24.2%、平成25年罹患分は21.8%、平成26年罹患分は12.1%と登録精度は年々向上しています。本県では、がんの診断・治療を県外の医療機関で行う患者の割合が全国でも突出して高い(20%以上)ことから、全国がん登録においては、登録精度が更に向上することを期待しています。

本県では、全国がん登録の理解を深め、届出票の精度向上を目的に県内医療機関のがん登録実務担当者を対象にがん概論や届出票の記載方法についての研修会を実施しています。しかし、医療機関のがん登録実務担当者の入れ替えが頻繁にあり、未だ基本的な部分でのエラーが多いため、今後も継続的な指導が必要と感じています。

## &lt;現状と課題&gt;

現在、がん登録のデータ活用について検討しており、今後は、がん登録から得られたデータに基づき県内のがんの罹患状況を分析し、県のがん対策に生かしていきたいと考えています。また、県民や県内市町村へのがん登録情報の提供についても模索しているところです。

本県はがん登録の歴史も浅く、職員も2~3年で異動してしまう環境ですので、がん登録の知識の蓄積が課題と感じています。また、全国がん登録は県主体で行っていますが、院内がん登録はがん診療連携拠点病院主体で行っており、連携に苦慮しております。

その他にも課題はたくさんありますが、先進的に取り組まれている都道府県を参考にさせていただきながら、より高いレベルの全国がん登録を目指して邁進してまいります。

今後とも皆様からの御指導をよろしくお願いいたします。



埼玉県がん登録室のメンバー